

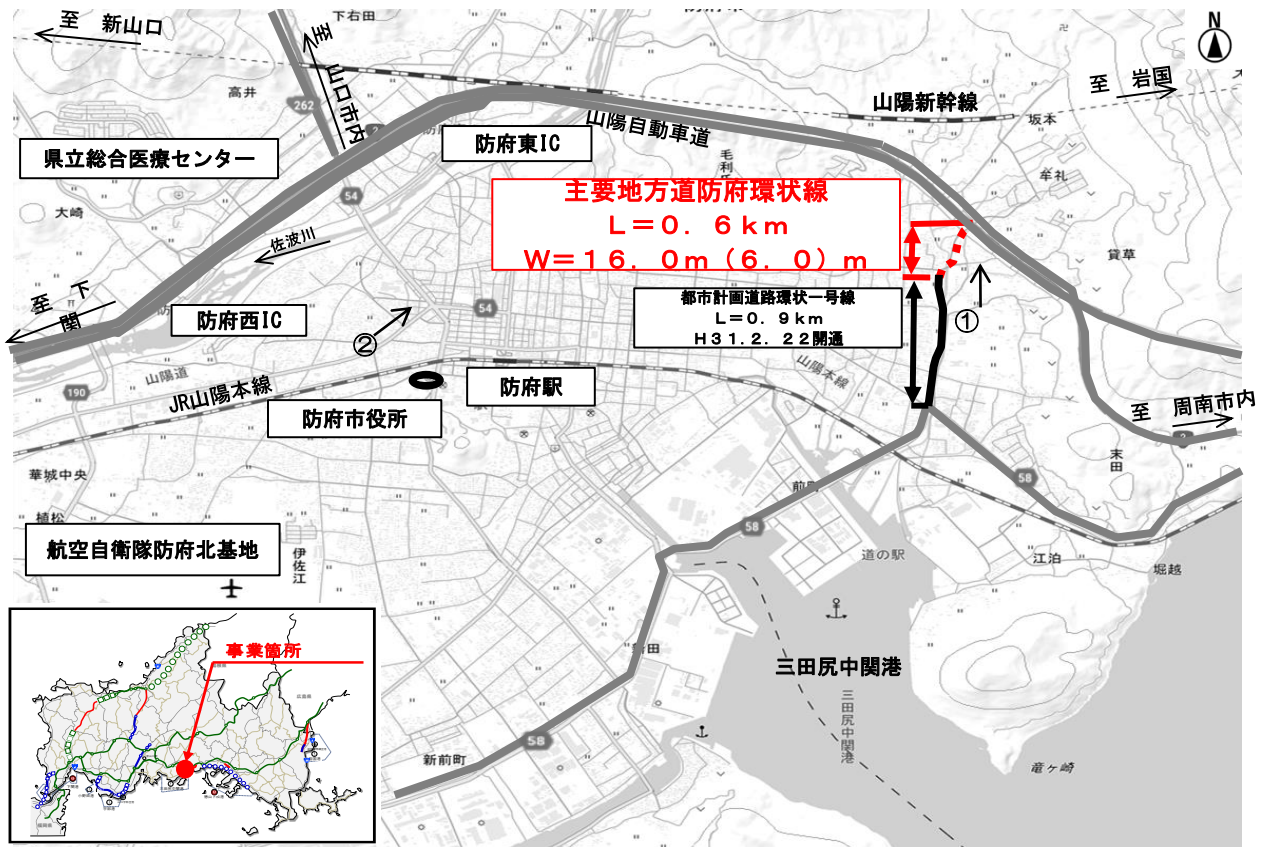
再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 (年) ○ 再評価後 (年) ● その他 (変化)					
1 事業概要	事業名	主要地方道 <small>ほうらかんじょう</small> 防府環状線 道路改築事業					
	事業場所	防府市 <small>むれやなぎ</small> 牟礼柳～牟礼					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 26 年時 》 平成 26 年度～令和 6 年度 《 令和 元 年度 》 (西暦 2014 年度～西暦 2024 年度 《 西暦 2019 年度 》)					
	総事業費 (内用地補償費)	≪ 1490 百万円 ≫ 1490 百万円 (206 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	392 百万円 (113 百万円)	進捗率 (用地補償費)	26 % (55 %)	
	事業目的	<p>主要地方道防府環状線は、防府市街地の外郭を形成する主要幹線道路であるとともに、山陽自動車道や重要港湾三田尻中関港へのアクセス道路として重要な道路である。</p> <p>事業区間より南側0.9kmは、平成31年2月に供用開始したところであるが、残る国道2号までの0.6kmについては、依然として歩道がなく、幅員の狭い市道や市街地の県道に通過交通が流入し、渋滞が発生していることから、安全で円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>このため、当該区間のバイパス整備を行うことにより、地域住民の安全で円滑な交通を確保するとともに、広域交通拠点との連絡を強化し、物流の効率化を図るものである。</p>					
事業内容	<p>○延長 : L=0.6 km (バイパス整備)</p> <p>○幅員 : 全幅16.0m (車道3.0m×2=6.0m、 歩道4.5m×2=9.0m)</p> <p>○道路区分 : 第4種第2級</p> <p>○計画交通量 : 6,300台/日</p>						
事業効果	<p>○沖今宿二丁目と沖高井交差点との移動時間が19分から9分になるなど、地域間の移動時間が10分短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化により、地域産業の活性化が期待できる。 ・防府市東南部から三次救急医療機関(県立総合医療センター)への搬送時間の短縮により救命率の向上に寄与する。 <p>○周辺道路の渋滞緩和により、円滑な交通が確保される</p> <p>○歩道の整備により歩行者や自転車利用者の通行の安全を確保することができる。</p>						
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>当該路線と一体で整備を行う「都市計画環状一号線(牟礼柳地内から沖今宿二丁目地内)」が完成するなど、広域的な地域連携強化に資する当該道路の必要性は依然として高い。</p> <p>【都市計画道路環状一号線(牟礼柳地内から沖今宿二丁目地内)】 ○平成31年2月に供用開始</p>				中項目評価	大項目評価
	関係市町及び地元の意向	<p>当該道路は、「防府市都市計画マスタープラン(平成30年度から令和20年度)」に、産業活動や物流の効率化に寄与する道路として位置づけられているとともに、毎年、防府市や防府商工会議所から早期整備の要望がある。</p> <p>地元住民は事業に協力的であり、事業推進にあたっての協力体制が整っている。</p>				中項目評価	◎ A ・ B ・ C

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th colspan="3">今回(再評価・再々評価) (基準年：R1)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>前回 (基準年：H25)</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>2,126</td> <td>2,211</td> <td>2,211</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行費用短縮便益</td> <td>472</td> <td>246</td> <td>246</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>26</td> <td>75</td> <td>75</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>2,624</td> <td>2,532</td> <td>2,532</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>1,359</td> <td>1,275</td> <td>894</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>1,395</td> <td>1,310</td> <td>929</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> <td>2.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>【費用対効果分析手法】 前回評価：「費用便益分析マニュアル(H20.11)」 基準年：H24 平成17年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量 今回評価：「費用便益分析マニュアル(H30.2)」 基準年：H30 平成22年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量</p>	区分	主な項目	今回(再評価・再々評価) (基準年：R1)			備考	前回 (基準年：H25)	全体事業	残事業	便益 (B)	①走行時間短縮便益	2,126	2,211	2,211		②走行費用短縮便益	472	246	246		③交通事故減少便益	26	75	75		④その他の便益	0	0	0		総便益	2,624	2,532	2,532		費用 (C)	①事業費	1,359	1,275	894		②維持管理費	36	35	35		③その他	0	0	0		総費用	1,395	1,310	929		費用便益比 (B/C)	1.9	1.9	2.7		大項目 評価 A ・ B ・ C
		区分	主な項目			今回(再評価・再々評価) (基準年：R1)				備考																																																							
				前回 (基準年：H25)	全体事業	残事業																																																											
		便益 (B)	①走行時間短縮便益	2,126	2,211	2,211																																																											
②走行費用短縮便益	472		246	246																																																													
③交通事故減少便益	26		75	75																																																													
④その他の便益	0		0	0																																																													
総便益	2,624		2,532	2,532																																																													
費用 (C)	①事業費	1,359	1,275	894																																																													
	②維持管理費	36	35	35																																																													
	③その他	0	0	0																																																													
	総費用	1,395	1,310	929																																																													
費用便益比 (B/C)	1.9	1.9	2.7																																																														
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>用地補償の進捗率が55%に達するとともに、残る45%についても所有者から概ね了解を得ており、事業実施における阻害要因はなく、今後計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続きバイパス整備を進める。</p> <p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>用地補償の遅延により、事業期間を令和6年まで延伸する。</p>	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																														
	(4) 代替案等コスト削減の可能性	<p>コスト削減</p> <p>発生土砂の現場内流用や他工事から流用を積極的に行い、土砂の有効利用を図る。</p> <p>代替案</p> <p>利便性・経済性・施工性を総合的に勘案し、最適ルートを選定していることから、計画どおり進めることが妥当と考える。</p>	<table border="1"> <tr> <td>中項目 評価</td> <td>大項目 評価</td> </tr> <tr> <td>①・b</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>中項目 評価</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>①・b</td> <td>C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	①・b	A	中項目 評価	B	①・b	C																																																						
中項目 評価	大項目 評価																																																																
①・b	A																																																																
中項目 評価	B																																																																
①・b	C																																																																
3 環境	配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁工事での濁水対策として、沈砂池や濁水処理フィルター等を設置する。 																																																															
4 対応方針 (事業実施主体案)	総合評価	<p>● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止</p>																																																															
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																															
	備考																																																																

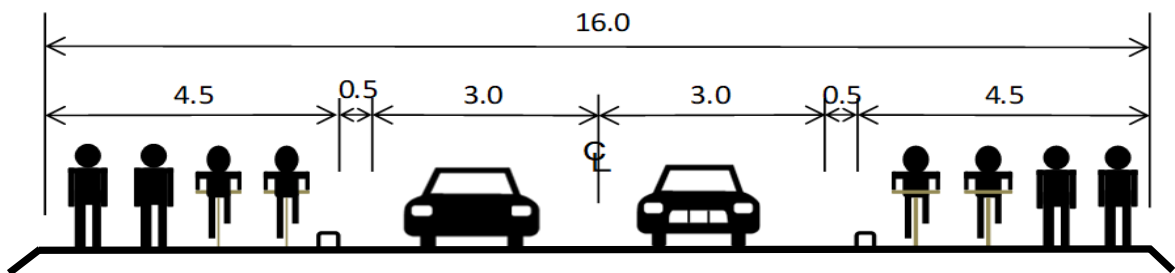
主要地方道 防府環状線 道路改築事業

平面図



※この地図は、国土地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真



① 整備状況



② (主) 防府停車線 八王子交差点付近の渋滞状況